

(特非) CWS Japan

放射能からの環境保全のための 福島原発事故の教訓に基づく 災害リスク伝達者育成プロジェクト

つづける助成

2年目

知識の提供・普及啓発

ワークショップを
実施した国

4か国

各国での
ワークショップの参加者

540人

今年度計画の達成度

60%

目標達成度

75%



韓国の中学生対象のワークショップ

活動内容と成果

写真展、映画上映、原発事故被災当事者の経験談、ワークショップなど、福島の教訓を伝える様々なコンテンツを組み合わせた授業やワークショップを、韓国、ウェールズ、タイで開催。現地の人々が原発災害のリスクに関心を持ち、我がこととして議論する場となった。韓国やウェールズでは今後福島の教訓を伝えていく伝達者になってもらうことを意識し、現地の関係者にも伝える側として参加してもらった。モンゴルで開催されたアジア防災閣僚会議では、仙台防災枠組に沿って原発事故からの復興の中で日本が直面しているジレンマを伝えた。



様々な国の参加者が集まった
タイでのワークショップ

課題

世界の原発立地国や建設計画のある国、とくに途上国では、原発リスクについて幅広い建設的議論の場がなく、市民社会が得た福島の教訓もほとんど伝わっていない。

目標

原発立地地域(あるいは予定地)において、福島の原発事故の教訓をベースとした原発災害のリスク軽減と環境保全のための具体的な議論が喚起される。



今後の
展望

各国の「災害リスク伝達者候補」と連携しながら、さらに多くの国で多様なコンテンツを用いたイベントやワークショップを行い、福島の教訓と原発災害リスクについて議論の場を作ると同時に、伝達者の育成を図る。

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

原発災害のリスクについて議論する土台となる原発事故や放射能についての基礎知識を限られた時間で的確に伝えるのに苦勞した。

■ 工夫した点

海外の人たちも理解しやすいアニメーション映画や写真などのビジュアルを使い、議論しやすいワークショップ形式を工夫した。

| 活動地域 |  韓国・イギリス・タイなど

〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
25号室
<http://fukushimalessons.jp/>

